

つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）

令和4（2022）年度施策実施状況

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

施策番号	施策内容	計画実施度	指標達成度	施策担当課
1	男女共同参画意識の幅広い啓発と、市民の交流促進を図るため、男女共同参画会議を開催します。	B	-	男女共同参画室
2	男女共同参画に関する意識の向上を図り、能力や行動力を高めるため、セミナーを開催します。	C	△	男女共同参画室
3	男女共同参画に関する取組や関係法令について、広報紙・ホームページ・イベント等で意識啓発や情報提供を行います。	B	-	男女共同参画室
4	学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女平等、相互理解・協力について指導を行います。	B	-	学び推進課
5	小中学校において、児童生徒が将来社会の一員として役割を果たしていくため、それぞれの個性や能力が発揮でき、自立して生きていくためのキャリア教育を行います。	B	-	学び推進課
6	災害時における女性のニーズに対応できるよう、女性の視点を取り入れた防災計画・防災体制づくりに努めます。	B	-	危機管理課
7	各国の男女共同参画の取組情報を収集し、紹介します。	B	-	男女共同参画室
8	女性活躍推進法により、一般事業主行動計画策定が努力義務となっている事業主に対し、策定・推進のための情報提供を行います。	B	-	男女共同参画室
9	国・県等と連携し、新しい就業形態などに関する情報の収集・提供を行います。また、つくば市ふるさとハローワークにおいて、職業相談、職業紹介を行い、再就職及び職場復帰を支援します。	C	△	産業振興課
10	各種セミナーや支援制度の情報提供を行います。また、各支援機関と連携し、相談業務を行います。	A	◎	産業振興課
11	家族経営協定の普及啓発を行い、快適な労働環境づくりを促進します。また、女性の能力・感性等を生かした新しい産業の創出が図れるよう、6次産業化のためのセミナー等を開催します。	A	◎	農業政策課
12	大学・研究機関・企業等と連携し、女子生徒や保護者等に対し、科学技術を身近なものとする取組を進めるとともに、ロールモデル（具体的な行動や考え方の模範となる人物）の紹介等を通じ、理工系女性の人材育成を推進します。	B	-	科学技術振興課
13	市内事業者に対し、国や県の支援・助成制度や優良事例などの情報を提供し、制度利用を促進します。	B	-	産業振興課
14	妊娠・出産・育児について、家族で正しい知識を持ち、積極的な育児参加ができるよう、講座を開催します。	A	◎	健康増進課
15	両親子育て教室を開催し、家庭における男女の役割分担などについて考える機会を提供します。	B	-	生涯学習推進課
16	子育て家庭が外出しやすい環境を整備するため、授乳やおむつ替えスペースを設置した施設をあかちゃんの駅として登録し、情報提供を行います。	B	-	こども政策課
	仕事と育児の両立を支援するため、保育ニーズに即した保育体制の強化等サービスの充実を図ります。（「つくば市子ども・子育て支援プラン」により推進）		△	幼児保育課
	仕事と育児の両立を支援するため、保育ニーズに即した保育体制の強化等サービスの充実を図ります。（「つくば市子ども・子育て支援プラン」により推進）		◎	幼児保育課
	仕事と育児の両立を支援するため、児童の遊びと生活の場を提供する放課後児童クラブの活動を推進します。（「つくば市子ども・子育て支援プラン」により推進）		◎	こども育成課
	仕事との両立や介護離職を防止するため、ニーズに応じた介護サービスの充実を推進します。（「つくば市高齢者福祉計画」により推進）			高齢福祉課／介護保険課
17	仕事と家庭生活を両立するため、長時間労働の是正や年次有給休暇取得の促進、さらにハラスメントの防止等の労働環境改善のための情報提供を行います。	B	-	産業振興課
18	市政運営において、女性が自らの能力を十分に生かし、様々な分野で政策や方針決定に関わり、意見や考え方を反映させることができる環境づくりを進めます。	C	△	男女共同参画室
19	女性が管理職を目指せるような職場環境の整備に努め、能力と適性に応じ、管理職登用・昇任を進めます。	C	△	人事課
20	男女がともに育児休業、介護休暇及び看護休暇制度を活用することができる職場の雰囲気づくりに努めます。	B	-	ワークライフバランス推進課
21	職場等におけるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントに関し、研修を通して職場単位での防止に努めます。また、相談員を配置し、相談体制の充実にも努めます。	B	-	ワークライフバランス推進課
22	男性職員の育児休業取得を奨励し、2週間以上100%の取得を目指します。	C	△	ワークライフバランス推進課
23	配偶者・パートナー等からの暴力は犯罪であるという意識の浸透と理解の促進を図るため、セミナーやホームページ等において、啓発活動を行います。	B	-	男女共同参画室
24	夫婦・親子の問題、人間関係、DV（配偶者・パートナー等からの暴力）、生き方などについて、必要な情報を提供するとともに、女性が主体的に思考・行動できるよう、女性相談員が相談・支援を行います。	B	-	男女共同参画室
25	相談業務についての必要な知識や能力を身に付け、相談者のニーズに即した対応ができるよう相談員の資質を高めます。	B	-	男女共同参画室
26	夫婦関係や家族、人間関係、仕事、生き方などの問題や悩みを抱えている男性に対し、男性相談員が相談・支援を行います。	B	○	男女共同参画室
27	DV被害者への的確な支援を図るため、相談事例の情報交換を行うなど、関係機関相互による連携を強化します。	B	-	男女共同参画室
28	性的指向や性同一性障害の理解を深めるための情報発信を行います。また、このことで、悩み・問題を抱えている方に対し相談支援を行います。	B	-	男女共同参画室

【計画実施度】

- A：順調（当初の計画以上に施策を実施した）
- B：おおむね順調（当初の計画どおり施策を実施した）
- C：遅れ（当初計画した施策を一部実施できなかった）
- D：未実施（当初計画した施策を全部実施できなかった）
- ：終了（計画年度（2018～2022）途中で終了した施策）

【指標達成度】

- ◎：実績値が年次目標値を上回った
- ：実績値が年次目標値どおり
- △：実績値が年次目標値を下回った
- ：指標のない施策

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	1	
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	1	広報・啓発のさらなる推進				
施策名	1	男女共同参画会議の開催				
施策内容	男女共同参画意識の幅広い啓発と、市民の交流促進を図るため、男女共同参画会議を開催します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
会議内容・構成等の検討を行うため、実行委員会を設置する。 ミンナのつどい開催：12月4日（日）10：00～13：00 市役所2階 男女共同参画社会づくりに関する基調講演 男女共同参画推進団体による活動紹介及びパネル展示			ミンナのつどいを12月4日（日）に開催した。男性学の視点から考える講演及び創作落語、男女共同参画活動団体等によるパネル展示を実施した。（参加者数：53人）また、講演会はオンラインでも配信した。配信期間：2023年1月6日～19日 申込者数：52人（延べ101回視聴） 実行委員会については、平成12年から21回会議を開催し、つくば市の男女共同参画推進に関する活動に一定の効果を上げることができたとして解散することになった。			
成果・課題	令和5年度から、男女共同参画フォーラム「つくばミンナのつどい」を男女共同参画セミナー特別講座として開催するにあたり、通常セミナーとの差別化を図り、ターゲット層やテーマ等の絞り込みなど、企画内容について検討を図る。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	2	
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	1	広報・啓発のさらなる推進				
施策名	2	男女共同参画を推進するためのセミナー開催				
施策内容	男女共同参画に関する意識の向上を図り、能力や行動力を高めるため、セミナーを開催します。					
指標	項目	男女共同参画セミナー参加者数			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	男42人 女509人
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	男53人 女500人	男64人 女500人	男76人 女350人	男88人 女350人	男100人 女350人
	実績値	男97人 女212人	男100人 女322人	男17人 女112人	男75人 女151人	男46人 女262人
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
男女共同参画に関する意識の向上を図り、能力や行動力を高めるため、男女共同参画セミナーを年10回開催する。 開催にあたっては、オンラインの導入や男性・勤労者も参加しやすいよう、セミナー内容や開催日時等にも配慮し、企画実施する。			離婚、DV、ワークライフバランス、再就職等に関するセミナーを年12回開催し、308人（男性46人、女性262人）の参加があった。 定員を超えた参加者数のセミナーが5つあったが、2つのセミナーで荒天により多くのキャンセルがあり予定の参加者数を下回った。			
成果・課題	社会的性別（ジェンダー）に敏感な視点を持ち、自身の気づきや学びの機会となるよう、様々なテーマでセミナーを開催していく。			計画実施度	C	
				指標達成度	△	
審議会意見	男女共同参画に興味・関心のない人でも参加しやすいテーマのセミナーをさらに増やすことによって、男女共同参画について考えるきっかけや機会を増やすことが重要ではないかと考えます。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	3	
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	1	広報・啓発のさらなる推進				
施策名	3	男女共同参画情報発信				
施策内容	男女共同参画に関する取組や関係法令について、広報紙・ホームページ・イベント等で意識啓発や情報提供を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
<p>「男女共同参画室だより」を年4回発行し、男女共同参画意識の普及啓発を図る。また、国の男女共同参画週間(6月)及び県の男女共同参画推進月間(11月)に合わせ、庁舎展示コーナーや中央図書館において啓発のための展示を行う。</p>			<p>職業選択におけるジェンダーバイアスの気づきになるような内容等の男女共同参画室だよりを年4回発行した。 国の男女共同参画週間（6月）、県の男女共同参画推進月間（12月）に合わせて中央図書館に特設掲示板を設け、関連図書やポスターを展示した。 市内小・中・義務教育学校の児童生徒に、男女共同参画推進標語「愛ことば」を募集し、269件の応募があった。</p>			
成果・課題	男女共同参画社会の実現のため、様々な取組や考え方に関する啓発活動を行っていく。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	学び推進課			施策番号	4	★重点施策
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	2	男女共同参画意識醸成のための教育の充実				
施策名	1	学校での男女共同参画の視点に立った教育				
施策内容	学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女平等、相互理解・協力について指導を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
児童生徒の発達段階に応じて人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての学習を行う機会を設定することで、実践力を育成する。			道徳及び特別活動、その他教科領域の学習及び学校行事等の学校教育活動全体を通して、人権の尊重や男女の平等などについて学習を行った。つくばスタイル科において学園内で計画を立て、系統的に学ぶ機会を設けた学園もあった。			
成果・課題	学校の教育活動全体を通して、人権意識の育成を図ることができた。コロナ対策が緩和されたことにより、対面での人権集会やフォーラムが開催され、人権の尊重、男女平等、相互理解・協力等について活発な意見交流が実現した。				計画実施度	B
					指標達成度	-
審議会意見	学校教育活動を通じて、人権の尊重、男女平等、相互理解・協力、さらに「協働」、「共同」についてもより一層、指導・推進してほしいと考えます。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	学び推進課			施策番号	5	★重点施策
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	2	男女共同参画意識醸成のための教育の充実				
施策名	1	学校での男女共同参画の視点に立った教育				
施策内容	小中学校において、児童生徒が将来社会の一員として役割を果たしていくため、それぞれの個性や能力が発揮でき、自立して生きていくためのキャリア教育を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
つくばスタイル科キャリア単元において、1年生から9年間かけて系統的にキャリア教育を実施する。1・2年は「人との関わり」、3・4年は「つくばの魅力」、5・6年は「社会との関わり」、7・8年は「共存する社会」、9年は「未来をつくるもの」という課題について学習する。道徳や特別活動においても、児童生徒の個性や能力が発揮できるような題材で実践を図る。			特別活動において係活動の活性化を図ったり、つくばスタイル科においてキャリア教育を実施したりした。キャリア教育では、オンラインで外部人材とつながったり、実際の体験活動を通じた学習を実施した学校もあった。道徳や特別活動において児童生徒の個性や能力が発揮できるような題材での実践もあった。			
成果・課題	職場訪問がオンラインから体験に切り替わるなど、実社会とのつながりをもち、それぞれの個性や能力が発揮でき、自立して生きていくための主体性や社会力を高めることができた。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	未来の男女共同参画を築く子供たちに、これまで行われてきたようなキャリア教育をさらに推進していただきたいです。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	危機管理課			施策番号	6	
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	3	男女共同参画の視点に立った防災体制の確立				
施策名	1	女性の視点を取り入れた防災計画・防災体制づくり				
施策内容	災害時における女性のニーズに対応できるよう、女性の視点を取り入れた防災計画・防災体制づくりに努めます。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
女性やこどもに配慮した備蓄品（ミルクや授乳服等）を継続的に整備を行う。また、新設する研究学園地区、香取台地区の学校にも、他の防災倉庫を整備している学校と同様に備蓄品を整備を行う。			粉ミルク、液体ミルク、おむつ、生理用品（昼用・夜用）、授乳服等を購入し、備蓄した。既存の粉ミルク、液体ミルクのうち、保存期限が近いものについては、期限前に市立保育所に配付し、利用した。 特に女性に知っておいてほしい災害への備えについて、市ホームページへの掲載や商業施設でのパネル展示を行った。 商業施設での防災イベントにおいて、災害用授乳服の展示を行った。 11月に国が主催する男女共同参画の視点を取り入れた防災研修会に参加した。			
成果・課題	災害時における女性のニーズを想定した備蓄品を整備することができた。なお、粉ミルク、液体ミルクについては、保存期間が短いため、毎年入れ替える必要がある。 特に女性に知っておいてほしい災害への備え等について周知することができた。 男女共同参画の視点を取り入れた防災にかかる知見を得ることができた。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	7	
基本目標	1	男女共同参画社会の基盤整備				
施策の方向	4	国際的な男女共同参画の動向理解				
施策名	1	各国の男女共同参画施策の情報収集・紹介				
施策内容	各国の男女共同参画の取組情報を収集し、紹介します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
「男女共同参画室だより」を発行し、諸外国の男女共同参画の取組状況や先進事例等を取り上げ、国際的な男女共同参画の動向について紹介する。			「男女共同参画室だより」第4号において生活時間の国際比較から見えることと題し、各国の男女別生活時間を比較し、日本人男性の有償労働時間が他国より長いこと。また、各国の夫婦の家事・育児時間を比較し、日本人女性の家事・育児時間が夫より長い結果となり長時間労働の見直しが必要であることを記事にした。			
成果・課題	引き続き諸外国の男女共同参画の取組み状況や先進事例等を取り上げ、国際的な男女共同参画の動向について紹介する。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	8	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	1	職業生活における活躍推進				
施策名	1	一般事業主行動計画に関する啓発				
施策内容	女性活躍推進法により、一般事業主行動計画策定が努力義務となっている事業主に対し、策定・推進のための情報提供を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
男女共同参画室だよりを発行し、「女性活躍推進法」の改正内容など、一般事業主行動計画策定推進のための情報提供を行う。また、男女共同参画センターにおいて、ワーク・ライフ・バランスや再就職応援講座等を企画・開催する。			女性活躍推進法の改正により、一般事業主行動計画策定の適用範囲がかわったことを周知するチラシを庁舎に設置し、情報提供を行った。			
成果・課題	一般事業主行動計画については、令和4年度から101人以上の事業主にも義務化されたことにより、茨城労働局が対象企業に個別に調査、指導しており、市による情報提供は不要となった。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	産業振興課			施策番号	9	.
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	1	職業生活における活躍推進				
施策名	2	就業関連情報提供及び再就職・職場復帰の支援				
施策内容	国・県等と連携し、新しい就業形態などに関する情報の収集・提供を行います。また、つくば市ふるさとハローワークにおいて、職業相談、職業紹介を行い、再就職及び職場復帰を支援します。					
指標	項目	つくば市ふるさとハローワークでの女性正規雇用の就業者数			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	273人
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	290人	305人	320人	335人	350人
	実績値	244人	213人	146人	143人	125人
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き、関係機関と連携し、新しい就業形態などに関する情報の収集・提供を行っていく。 また、つくば市ふるさとハローワークにおいて、求職者のニーズに合わせた情報発信コーナー等を充実させていく。			つくば市ふるさとハローワークにおいて、国・県等が実施している事業を周知するなど、求職者のニーズに合った情報発信を行った。 また、市の会計年度任用職員を配置し、職業相談や職業紹介の補助及び雇用制度や職業情報の周知等を行った。			
成果・課題	女性347人（正規雇用125人、非正規雇用222人）が就職することができた。非正規雇用を希望している求職者もいるため、求職者のニーズに合った情報発信を行う必要がある。			計画実施度	C	
				指標達成度	△	
審議会意見	指標の項目が正規雇用の就業者数に限定されていますが、非正規雇用を希望する求職者も存在するため、指標の作り方を現状を踏まえたものに再検討する必要があるのではないのでしょうか。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	産業振興課			施策番号	10	.
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	1	職業生活における活躍推進				
施策名	3	起業・創業を目指す人への情報提供・資金面の援助				
施策内容	各種セミナーや支援制度の情報提供を行います。また、各支援機関と連携し、相談業務を行います。					
指標	項目	特定創業支援事業による女性の創業件数			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	11人
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	11人	12人	13人	14人	15人
	実績値	26人	22人	20人	21人	39人
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き、産業競争力強化法により国から認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、支援機関（商工会、研究支援センター、筑波大学、産総研、日本政策金融公庫等）と共に、幅広い創業支援事業を実施し、創業時の資金面の援助策として、法人設立時の登録免許税及び定款認証手数料を最大125,000円補助する。また、創業啓発セミナー等において、先輩創業者などにも参加いただき、創業希望者に経験談などの伝える機会を検討していく。			国の認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、「つくば市創業啓発セミナー」を1回実施。加えて、創業支援の総合相談窓口を前年度に引き続き常設し、創業に関する制度や支援メニューを紹介することで、女性起業に関する支援を行った。 また、法人設立時の登録免許税の補助及び定款認証手数料補助を8件交付決定した。			
成果・課題	創業希望者に対して、実施計画に基づき円滑に支援を実施することができた。引き続き、女性創業希望者に対し、創業機運の醸成を図る必要がある。			計画実施度	A	
				指標達成度	◎	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	農業政策課			施策番号	11	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	1	職業生活における活躍推進				
施策名	4	女性の参画が少ない分野での支援				
施策内容	家族経営協定の普及啓発を行い、快適な労働環境づくりを促進します。また、女性の能力・感性等を生かした新しい産業の創出が図れるよう、6次産業化のためのセミナー等を開催します。					
指標	項目	家族経営協定締結累計			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	193件
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	200件	201件	202件	203件	205件
	実績値	203件	206件	206件	209件	212件
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き女性の能力・感性等を生かした新しい産業の創出が図れるよう、6次産化のためのセミナーを年1回以上実施する。			関係機関の茨城県と連携した女性のための6次産業化セミナーを1回開催し、5名が参加した。			
成果・課題	セミナーの参加者は5人だった。今後は、セミナーを中心に据えた上で広報媒体を利用して、より広範に家族経営協定の普及啓発を行っていく。			計画実施度	A	
				指標達成度	◎	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	科学技術振興課			施策番号	12	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	1	職業生活における活躍推進				
施策名	4	女性の参画が少ない分野での支援				
施策内容	大学・研究機関・企業等と連携し、女子生徒や保護者等に対し、科学技術を身近なものとする取組を進めるとともに、ロールモデル（具体的な行動や考え方の模範となる人物）の紹介等を通じ、理工系女性の人材育成を推進します。					
指標	項目	—			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	—
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き、仕事と家庭生活を両立しやすい就労形態に関する周知、啓発を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による労働環境の変化や改善について現状把握に努める。			<p>つくばで輝く研究者の紹介</p> <p>2022年8月から2022年12月まで毎月1回、主に理工系分野で活躍する計5人の研究者を市ウェブサイトで紹介した。（女性：4名 男性：1名）記事は常陽リビングでも掲載された。研究内容だけでなく、進路選択や家族との休日の過ごし方を掲載し、研究者のロールモデルを紹介した。毎回の記事掲載のタイミングで、市SNS及びつくスマアプリにて情報発信を行ったほか、約2か月に1回の頻度で、計3回、Instagram及びFacebookに事業広告を掲載した。</p> <p>中高生理工学進学応援事業</p> <p>全国の女子中高生及び保護者を対象に、筑波大学の理系大学院生や研究機関などで働いている女性研究者が、研究や仕事内容を紹介し、その魅力を伝える「リケジョサイエンスフォーラム-2022-」を、筑波大学と共催で、オンラインにて実施した。 日時：2022/8/10 13:00～17:00 参加人数：246名</p>			
成果・課題	市HPに加え、SNS等での情報発信を積極的に行い、主として理工系人材のロールモデルを継続的に紹介することができた。			計画実施度	B	
	成果の数値化、可視化が難しい性質の事業ではあるものの、認知度、読者層、要望などがある程度把握し、他事業との連携も視野に入れた、より効果的な内容にしていく必要がある。以前のように中高生理工学進学応援シンポジウムとリケジョサイエンス合宿のような対面で行う事業が難しい状況の中、効果的に体験型のイベントを企画していく必要がある。			指標達成度	—	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	産業振興課			施策番号	13	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	1	男性の育児・介護休業取得を促進するための企業への情報提供				
施策内容	市内事業者に対し、国や県の支援・助成制度や優良事例などの情報を提供し、制度利用を促進します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き、市内立地企業へのフォローアップ訪問の際、男性の育休取得に関する情報提供や、国、県の支援、助成制度等のワークライフバランスに関する情報について周知、啓発を行っていく。 また、男性の育休取得状況等についてのヒアリング等を実施し、現状の把握に努める。			国、県の支援、助成制度やワークライフバランスに関する情報について周知、啓発を行った。 また、市内立地企業へのフォローアップ訪問時に、男性の育児休業制度に関するヒアリングを実施した(24社)。			
成果・課題	訪問した企業のうち23社が男性の育児休業制度を設けており、実際に当該制度を利用した従業員も多く見られた。引き続き、普及啓発を推進していく。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	健康増進課			施策番号	14	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	2	男性の家庭生活への参画促進				
施策内容	妊娠・出産・育児について、家族で正しい知識を持ち、積極的な育児参加ができるよう、講座を開催します。					
指標	項目	マタニティサロンの夫又はパートナーの参加者の割合			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	41.5%
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	42.1%	42.7%	43.3%	43.9%	44.4%
	実績値	44.0%	45.4%	42.8%	46.3%	47.4%
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
<p>マタニティサロン育児編 【開催回数】年23回（土日に18回開催） 【内容】妊婦疑似体験、沐浴体験 マタニティブルーズについて 赤ちゃんの泣きの特徴について学ぶ マタニティ講演会 【開催回数】年4回 【内容】歯科医師講話、小児科医師講話 先輩パパからの経験談 ライフプランすこやかやつくば市子育てハンドブック、HP、つくっこすくすくアプリ等で周知</p>				<p>【マタニティサロン育児編】 開催回数：年28回（定期開催23回、臨時開催5回） 参加人数：妊婦315人、夫等310人 アンケート結果：満足81.7%、やや満足15.0% 【マタニティ講演会】 開催回数：年4回（うちオンライン併用開催3回） 参加人数：妊婦74人、夫等41人 アンケート結果：満足68.9%、だいたい満足25.7%</p>		
成果・課題	【マタニティ講演会】9月よりオンライン参加も可能にした。これまで平日開催のため参加できなかった夫・パートナーのオンライン参加が可能になった。昨年と比較し夫等の参加人数が増加した。マタニティ講演会の夫等の参加を増やすため、周知方法の検討や、参加しやすい参加方法での実施を推進していく。			計画実施度	A	
	【育児編】できる限り参加希望者が希望する日時に参加できるよう臨時開催可能な体制を整えた。			指標達成度	◎	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	生涯学習推進課			施策番号	15	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	2	男性の家庭生活への参画促進				
施策内容	両親子育て教室を開催し、家庭における男女の役割分担などについて考える機会を提供します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
講演会を開催予定。 講演内容、会場、開催方法は現在検討中。 家庭の日講座を開催予定。 講座内容、会場、開催方法は現在検討中。			令和4年度「家庭の日」社会教育講座 「笑っている父親になろう！～子育ては夫婦協働プロジェクト～」 開催日 11月5日（土） 講師 安藤哲也氏（11組24人） 令和4年度第1回つくば市社会教育講演会「いじめ予防最前線～大人も子どもと共に学びましょう～」 開催日 10月22日（土） 講師 二井矢旬子氏（38人）（動画配信1人） 社会教育講演会「子育てたの（しく）・らく（な）セミナー@くきざき」 講師 穂積妙子氏 第1回開催日 12月6日（火）（大人12人うち子ども12人） 第2回開催日 12月13日（火） 大人12人うち子ども12人） 令和4年度第2回つくば市社会教育講演会 「その瞬間、生き残れるか。」 開催日 3月4日（土） 講師 仲西宏之氏（25人）（オンライン配信 20人）			
成果・課題	子育て世代に関心が高いテーマと講師を選び、親子一緒に聞ける講演会にすることができた。学びの機会がとぎれることがないようにと動画配信等も行った。 動画視聴は隙間時間で家庭教育情報が得られるメリットがあった一方、保護者間のつながりの希薄化から子育ての不安やストレスを共有できる仲間づくりができず子育てが孤立するデメリットが浮き彫りになった。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	こども政策課			施策番号	16	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	2	男性の家庭生活への参画促進				
施策内容	子育て家庭が外出しやすい環境を整備するため、授乳やおむつ替えスペースを設置した施設をあかちゃんの駅として登録し、情報提供を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
<p>令和3年度に行ったあかちゃんの駅の状況調査に基づき、児童館等のあかちゃんの駅の整備を進める。</p> <p>また、子育てハンドブックの配布や子育て総合支援センター、各地域子育て支援拠点、民間支援団体等を通じて広く情報を提供し、安心して子育て世代が外出できるよう整備と情報提供を図る。</p> <p>移動型のあかちゃんの駅としておむつ替えテント一式を貸し出し、市主催のイベントのほか共催、後援イベントでも活用してもらう。</p>			<p>あかちゃんの駅として専用の部屋のなかった児童館について、専用の部屋の確保や授乳用いす、おむつ交換台を設置した。また、和室等でもおむつ交換等ができるよう、多目的型のおむつ交換マットを設置し、安全、安心して利用できるよう整備を進めた。</p> <p>民間施設に登録のあるあかちゃんの駅については、視察等をして状況の確認を行った。その中の大型商業施設では、施設の協力により、目印となるステッカーの掲示を増やし、利用者に設置場所をわかりやすくするなどの取り組みをした。</p> <p>その他、移動型のあかちゃんの駅として、おむつ替えテント一式を貸し出しており、令和4年度はその中の移動型おむつ交換台を市主催のイベント等で貸し出し、子育て親子に活用された。</p> <p>情報提供については、子育てハンドブックの配布やホームページ、子育て総合支援センター、各地域子育て支援拠点、民間支援団体等を通じて広く周知した。</p>			
成果・課題	児童館等の整備を行い、利用者が一層利用しやすい環境を整えた。今後も整備等を行いながら、利用者が利用したい時に、直ぐにあかちゃんの駅の場所が把握できるような情報提供の方法を検討する。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	幼児保育課			施策番号		
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	3	育児・介護を行う労働者が働き続けやすい環境づくり				
施策内容	仕事と育児の両立を支援するため、保育ニーズに即した保育体制の強化等サービスの充実を図ります。					
指標	項目	保育所待機児童数*			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	114人
		* = R4年4月1日の値				
	年次目標値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	実績値	0人	30人	0人	0人	0人
		116人	131人	42人	2人	3人
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
（※）「つくば市子ども・子育て支援プラン」により施策を実施し、子ども子育て会議が評価を実施。						
成果・課題	待機児童数は計画当初より111人減少しており、仕事と育児の両立を支援できている。 加配が必要な児童が待機児童となる傾向が続いているため、そのような児童の入所調整が課題である。			計画実施度	－	
				指標達成度	△	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	幼児保育課			施策番号		
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	3	育児・介護を行う労働者が働き続けやすい環境づくり				
施策内容	仕事と育児の両立を支援するため、保育ニーズに即した保育体制の強化等サービスの充実を図ります。					
指標	項目	病児・病後児保育実施施設数			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	3施設
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設
	実績値	4施設	4施設	5施設	8施設	8施設
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
(※)「つくば市子ども・子育て支援プラン」により施策を実施し、子ども子育て会議が評価を実施。			/			
成果・課題	病児保育事業所が目標値を超えて増加したことにより、仕事と育児の両立に貢献し、男女共同参画社会の形成に資する。 利用者にとってより利用しやすいように事業の質を上げていくのが課題である。			計画実施度	-	
				指標達成度	◎	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課		こども育成課			施策番号				
基本目標		2		あらゆる分野での活躍推進					
施策の方向		2		仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備					
施策名		3		育児・介護を行う労働者が働き続けやすい環境づくり					
施策内容		仕事と育児の両立を支援するため、児童の遊びと生活の場を提供する放課後児童クラブの活動を推進します。							
指標	項目	放課後児童クラブ受け入れ児童数				基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）		3,090人	
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）			
	年次目標値	3,287人	3,490人	3,686人	3,874人	4,028人			
	実績値	3,801人	4,312人	4,746人	5,013人	5,276人			
2022年度実施計画（予定）					2022年度実施状況（実績）				
(※)「つくば市子ども・子育て支援プラン」により施策を実施し、子ども子育て会議が評価を実施。					/				
成果・課題		児童クラブ室の設置や学校施設等の借用により、受け入れ児童数の拡充を図ることができた。 一方、TX沿線開発地区の急激な人口増やライフスタイルの変化に伴う保護者等のニーズ等により、一部で待機児童が発生しており、さらに、床面積要件超過の状況で受け入れ対応をしている既存施設もあるため、これらの課題に対応していく必要がある。				計画実施度		-	
						指標達成度		◎	
審議会意見		意見なし							

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	高齢福祉課/介護保険課			施策番号		
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	3	育児・介護を行う労働者が働き続けやすい環境づくり				
施策内容	仕事との両立や介護離職を防止するため、ニーズに応じた介護サービスの充実を推進します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
(※)「つくば市高齢者福祉計画」により施策を実施し、高齢者福祉推進会議が評価を実施。			/			
成果・課題	介護を必要とする方が必要なサービスを利用できるように、適切な介護サービス事業所の整備の推進と質の向上を図った。介護を必要とする方や介護する方が適切な介護サービスを選択できるように、介護サービスに関する情報の広報・周知の充実を推進する。				計画実施度	-
					指標達成度	-
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	産業振興課			施策番号	17	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	2	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の環境整備				
施策名	4	労働環境改善のための情報提供・啓発				
施策内容	仕事と家庭生活を両立するため、長時間労働の是正や年次有給休暇取得の促進、さらにハラスメントの防止等の労働環境改善のための情報提供を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
引き続き、仕事と家庭生活を両立しやすい就労形態に関する周知、啓発を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による労働環境の変化や改善について現状把握に努める。			経営支援ワンストップ窓口を前年度に引き続き常設し、社会保険労務士による労働環境改善のための相談環境を整えた。 また、市内立地企業へのフォローアップ訪問時に、テレワークの利用に関するヒアリングを実施した(25社)。			
成果・課題	訪問した企業のうち15社がテレワークを活用しながら業務を行っていた。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、移行後の労働環境の把握に努めていく。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室		施策番号	18		★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	3	市政における女性の参画促進				
施策名	1	審議会等委員の女性委員の登用				
施策内容	市政運営において、女性が自らの能力を十分に生かし、様々な分野で政策や方針決定に関わり、意見や考え方を反映させることができる環境づくりを進めます。					
指標	項目	審議会等委員の女性委員の割合*（女性委員が30%以上の会の割合）/ 審議会等委員の女性の長の割合* * = R4年4月1日の値			基礎となった数値（2017年 4月1日又は2016年度末）	全体で30.0%/ 全体で9.4%
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	60.0%/ 10.0%	70.0%/ 15.0%	80.0%/ 20.0%	90.0%/ 25.0%	100.0%/ 30.0%
	実績値	62.5%/ 12.5%	61.8%/ 11.8%	54.5%/ 12.1%	47.1%/ 8.8%	48.5%/ 6.1%
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
<p>附属機関委員等を新たに任命・改選する際の女性委員の積極的な登用の推進について、全庁に周知を行う。また、審議会・委員会等における女性委員の登用率について調査を実施し、結果を公表・報告する。</p>			<p>4月に審議会等における女性委員の参画状況を調査し、登用率について全庁に周知した。 また、7月に実施した庁議構成員で組織されている男女共同参画推進本郡会議で、本部員に対し、女性委員の登用について積極的に取り組むよう依頼をした。 5年間の女性委員の登用率調査から、登用率が低い審議会等の洗い出しを行った。</p>			
成果・課題	<p>5年間の審議会等委員の女性比率調査の洗い出しにより、登用率の低い審議会等の傾向が分かったことを受け、次年度は、状況報告の際に新たに委嘱期間や選考方法を調査し、課題を整理する。また、改選の際には、女性委員の登用率を向上させるため、担当課と協議する。</p>			計画実施度	C	
				指標達成度	△	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表

令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	人事課		施策番号	19		★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	4	市と市職員が率先して行う取組				
施策名	1	女性職員の管理職等登用の推進				
施策内容	女性が管理職を目指せるような職場環境の整備に努め、能力と適性に応じ、管理職登用・昇任を進めます。					
指標	項目	市職員（行政職）の管理職に占める女性の割合（課長補佐職以上）＊/ 市職員（行政職）の係長職に占める女性の割合＊ ＊＝R4年4月1日の値			基礎となった数値（2017年 4月1日又は2016年度末）	23.5%/ 19.1%
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	24.0%/ 20.0%	25.0%/ 27.5%	26.0%/ 35.0%	27.0%/ 42.5%	28.0%/ 50.0%
	実績値	20.9%/ 20.9%	21.7%/ 21.2%	24.2%/ 27.6%	23.4%/ 30.2%	24.4%/ 40.3%
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
女性職員が持つ不安を払しょくし、昇格することに対する意欲を高めるため、研修へ継続して職員を派遣する、課長補佐級の階層研修にて「女性活躍推進のための職場づくり研修」を実施、女性が活躍しやすい職場環境のづくりのための意見交換会を継続する。 「配偶者同行休業」や「旧姓使用」を継続して運用し、女性が活躍しやすい職場環境づくりを進めていく。			女性職員が持つ不安を払しょくし、昇格することに対する意欲を高めるため、研修を実施、派遣を行った。 また、「つくば市職員の配偶者同行休業に関する条例」（H30.4.1施行）、「つくば市職員旧姓使用取扱要項」（H30.4.1施行）を継続して運用し、女性職員の離職抑制や働きやすい職場環境づくりに努めた。			
成果・課題	課長補佐級職員25名に「女性活躍推進のための職場づくり研修」を実施、茨城県自治研修所「女性職員キャリアデザイン講座」に女性職員1名を派遣し、自身の能力開発や、長期的視野でキャリアアップを目指すための意識啓発を行い、意欲の向上を図った。 また、配偶者同行休業を1件、旧姓使用を12件承認し、女性が活躍しやすい職場環境づくりに寄与した。			計画実施度	C	
				指標達成度	△	
審議会意見	女性職員の管理職登用を推進するためには、まずは積極的改善措置として、女性職員にとって労働負担を軽減する制度・仕組みが必要ではないでしょうか。さらに、職場全体の柔軟な勤務時間や育児休業等の休暇制度の利用しやすさを向上させることも必要です。その上で、男性職員にも管理職登用の研修や支援は必要ではないかと考えます。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	ワークライフバランス推進課		施策番号	20		
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	4	市と市職員が率先して行う取組				
施策名	2	育児休業・介護休暇等が取得しやすい環境づくり				
施策内容	男女がともに育児休業、介護休暇及び看護休暇制度を活用することができる職場の雰囲気づくりに努めます。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
啓発のため、イントラ掲示板等において、育児や介護等に関する制度や情報を定期的に掲載する。 職場復帰面談シートの活用を促進させ、職員が仕事と家庭生活とのバランスを保ちながら、意欲をもって職務に専念できるような職場環境づくりに努める。			職員向けの「ワークライフバランスハンドブック」を発行し、出産・育児、介護に関する制度について、イントラ掲示板等で情報提供を行った。 育児休業から復職予定の職員に対して、復職後の働き方や職場での配慮希望等の確認のため、「職場復帰面談シート」を活用して復職面談を行うよう所属長に通知を行った。			
成果・課題	女性職員の育児休業取得率は100%を達成。男性職員の育児休業取得率も年々高くなっている。（2022年度実績41人中34人取得82.9%） 男性職員の長期的な育児休業取得のための方策（代替職員の確保、ワークシェアリングの導入等）について検討が必要である。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	男女を問わず、育児休業、介護休暇、そして看護休暇制度を活用できる職場の雰囲気づくりについてより一層推進していただきたいです。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	ワークライフバランス推進課			施策番号	21	
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	4	市と市職員が率先して行う取組				
施策名	3	職場におけるハラスメント防止対策の推進				
施策内容	職場等におけるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントに関し、研修を通して職場単位での防止に努めます。また、相談員を配置し、相談体制の充実に努めます。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
外部相談窓口をより効果的なものができるよう定期的に周知する。また、ハラスメント防止に向けた啓発として、具体的なハラスメント事例・判例を掲示板に掲載する。			教育局、市長部局、消防本部にハラスメント相談員を各2名ずつ配置したほか、職員用掲示板にパワーハラスメント及びセクシュアルハラスメントに関する注意喚起及び相談窓口の周知を行った。			
成果・課題	職場での様々なハラスメントをなくすため、定期的な啓発活動を行うとともに、被害を受けた職員に対しては適切な相談に繋がるよう継続的な情報提供を行う。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	ワークライフバランス推進課			施策番号	22	★重点施策
基本目標	2	あらゆる分野での活躍推進				
施策の方向	4	市と市職員が率先して行う取組				
施策名	4	男性職員の育児休業取得促進				
施策内容	男性職員の育児休業取得を奨励し、2週間以上100%の取得を目指します。					
指標	項目	男性職員の2週間以上の育児休業取得			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	5.4%
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%
	実績値	28.9%	41.9%	74.5%	89.6%	82.9%
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
今年度も引き続き、年度中に子どもが生まれる男性職員とその所属長に制度等の個別説明を実施する。また、男性職員には、育児休業の大切さを説明し、2週間にとらわれず、長期的な育児休業の取得促進に繋げる。			育児休業制度の個別説明実施のほか、職員向け「ワークライフバランスハンドブック」の発行等により、男性の育児休業に対する理解も広く浸透してきており、取得率は高い数値で維持できているが、目標値を達成することはできなかった。			
成果・課題	引き続き、男性職員が希望する形で育児休業が取得できるよう、取得しやすい環境の整備に向けて取り組みを行うことが必要である。			計画実施度	C	
				指標達成度	△	
審議会意見	男性職員が育児休業を取得しやすい環境を整備するために、男性職員とその所属長に対する制度の説明を、より一層推進していただきたいです。					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	23	
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	1	配偶者等暴力（DV）根絶のための啓発				
施策名	1	DV防止のための広報・啓発				
施策内容	配偶者・パートナー等からの暴力は犯罪であるという意識の浸透と理解の促進を図るため、セミナーやホームページ等において、啓発活動を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
各種相談機関のチラシ等を庁内掲示コーナーに配置する。また、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、庁舎1階展示コーナーにおいて関連ポスターの掲示及び女性のための相談室など、各種相談窓口等の周知を行う。			11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、11月8日～12月4日まで庁舎1階展示コーナーにおいて、DV防止に関する特別展示を行った。			
成果・課題	DV被害に対する社会的認知度を高めるために啓発活動や情報提供を継続的に実施する。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	24	
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	2	相談体制の充実と被害者の保護				
施策名	1	女性のための相談室の実施				
施策内容	夫婦・親子の問題、人間関係、DV（配偶者・パートナー等からの暴力）、生き方などについて、必要な情報を提供するとともに、女性が主体的に思考・行動できるよう、女性相談員が相談・支援を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
女性が抱える様々な悩みに、女性のための相談員やフェミニストカウンセラー、女性弁護士による「女性のための相談室」を実施する。 相談にあたっては、庁内関係課と連携を図りながら、必要な情報提供等が行えるよう支援を行う。			女性のための相談室実績 相談件数：延べ503件（電話相談：155件、一般相談167件、心と生き方相談139件、法律相談42件） また、市の関連施設や広報紙、HP、セミナー等で、相談窓口の周知を行った。			
成果・課題	相談事業を充実させるために、庁内関係各課との連携、情報提供等を高めていく。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	25	
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	2	相談体制の充実と被害者の保護				
施策名	2	相談員研修の充実				
施策内容	相談業務についての必要な知識や能力を身に付け、相談者のニーズに即した対応ができるよう相談員の資質を高めます。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
相談員に必要とされる資質向上を図ることを目的に、相談員研修会を年2回実施する。また、相談員の情報共有及び意見交換の場として、年2回事例検討会を実施する。			相談員の能力向上のため、「弁護士による離婚に関わるお金の問題」及び「DVと虐待」についての講演会や相談対応ロールプレイなど実施した。			
成果・課題	相談者の立場に立って対応することが、女性のための相談員にとって重要な役割となるため、適切なアドバイスや情報提供をするために、常に最新の情報を収集する。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	26	
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	2	相談体制の充実と被害者の保護				
施策名	3	男性のための電話相談の実施				
施策内容	夫婦関係や家族、人間関係、仕事、生き方などの問題や悩みを抱えている男性に対し、男性相談員が相談・支援を行います。					
指標	項目	男性のための電話相談			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	4回
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	5回	5回	6回	6回	6回
	実績値	6回	6回	6回	6回	6回
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
男性が抱える悩みや問題等について、男性の産業カテゴリーによる電話相談を年6回実施する。 相談の実施にあたっては、市関連施設や広報紙、HP、セミナー、Twitter等で、相談日の周知を図る。			市内在住・在勤・在学の男性を対象に電話相談を年間6回実施し、14件の相談を受けた。 広報紙・ホームページ、回覧板、SNS、つくスマ、公共施設、ドラッグストア・スーパーでのチラシ掲示などで周知を行った。			
成果・課題	男性専用の相談窓口があること、どのような問題に対応しているか、安心して相談できる雰囲気をアピールする周知を図る。			計画実施度	B	
				指標達成度	○	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	27	
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	2	相談体制の充実と被害者の保護				
施策名	4	保護のための関係機関との連携強化				
施策内容	DV被害者への的確な支援を図るため、相談事例の情報交換を行うなど、関係機関相互による連携を強化します。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
DV被害者の相談対応や一時保護所への移送、自立支援といった切れ目のない支援等が行えるよう、県の女性相談センターをはじめ、警察、民間支援団体、庁内関係課等との情報共有・連携を密に行う。			茨城県女性相談センター主催のDV対策ネットワーク会議に出席し、警察署、市町村、県南県民センター、児童相談所、福祉相談センターとの婦人保護事業に関することについて協議、情報共有を行った。			
成果・課題	庁外の関係機関と連携体制が図れるよう、定期的に情報共有を行う。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

令和4年度（2022年度）つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）評価一覧表
 令和4年度（2022年度）施策実施状況

担当課	男女共同参画室			施策番号	28	★重点施策
基本目標	3	一人ひとりの人権の尊重				
施策の方向	3	性に関する差別の解消				
施策名	1	性的指向や性同一性障害の理解を深めるための情報発信や相談支援				
施策内容	性的指向や性同一性障害の理解を深めるための情報発信を行います。また、このことで、悩み・問題を抱えている方に対し相談支援を行います。					
指標	項目	-			基礎となった数値（2017年4月1日又は2016年度末）	-
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度（将来指標）
	年次目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
2022年度実施計画（予定）			2022年度実施状況（実績）			
性的マイリティ等に対する理解を深めるため、男女共同参画セミナーや男女共同参画室だより等で啓発活動を行う。また、性的マイリティに関する相談について、県の相談窓口の情報提供を行う。			男女共同参画セミナー「性別で見る多様性と人権」—LGBTだけじゃない！あなたの性のあり方は？—を実施し、15名の参加者があった。性的少数者当事者から、経験談を聞く機会を設けることができた。			
成果・課題	セミナーの参加者アンケートでは、9割以上の方が良い内容であったと回答しており、満足度の高いセミナーを実施することができた。今後も、参加者のニーズに応えるためのセミナーを検討する。			計画実施度	B	
				指標達成度	-	
審議会意見	意見なし					

つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）指標一覧

施策番号	項目	現状値（平成28年度未または平成29年4月1日現在）		平成30 （2018）年度	令和元 （2019）年度	令和2 （2020）年度	令和3 （2021）年度	令和4 （2022）年度	将来指標 （2022年度）	担当課
1	男女共同参画セミナー参加者数	男42人 女509人	実績値	男97人 女212人	男100人 女322人	男17人 女112人	男75人 女151人	男46人 女262人	男100人 女350人	男女共同参画室
			目標値	男53人 女500人	男64人 女500人	男76人 女350人	男88人 女350人	男100人 女350人		
			指標達成度	△	△	△	△	△		
9	つくば市ふるさとハローワークでの女性の正規雇用の就業者数	273人	実績値	244人	213人	146人	143人	125人	350人	産業振興課
			目標値	290人	305人	320人	335人	350人		
			指標達成度	△	△	△	△	△		
10	特定創業支援事業による女性の創業件数	11人	実績値	26人	22人	20人	21人	39人	15人	産業振興課
			目標値	11人	12人	13人	14人	15人		
			指標達成度	◎	◎	◎	◎	◎		
11	家族経営協定締結累計	193件	実績値	203件	206件	206件	209件	212件	205件	農業政策課
			目標値	200件	201件	202件	203件	205件		
			指標達成度	◎	◎	○	◎	◎		
14	マタニティサロンの夫またはパートナーの参加者の割合	41.5%	実績値	44.0%	45.4%	42.8%	46.3%	47.4%	44.4%	健康増進課
			目標値	42.1%	42.7%	43.3%	43.9%	44.4%		
			指標達成度	◎	◎	△	◎	◎		

つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）指標一覧

施策番号	項目	現状値（平成28年度末または平成29年4月1日現在）		平成30（2018）年度	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	将来指標（2022年度）	担当課
	保育所待機児童数	114人 （平成29年4月1日現在）	実績値	116人	131人	42人	2人	3人	0人	幼児保育課
			目標値	0人	30人	0人	0人	0人		
			指標達成度	△	△	△	△	△		
	病児・病後児保育実施施設数	3施設	実績値	4施設	4施設	5施設	8施設	8施設	4施設	幼児保育課
			目標値	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設		
			指標達成度	◎	○	○	◎	◎		
	放課後児童クラブ受け入れ児童数	3,090人	実績値	3,801人	4,312人	4,746人	5,013人	5,276	4,028人	こども育成課
			目標値	3,287人	3,490人	3,686人（推計値）	3,874人（推計値）	4,028人（推計値）		
			指標達成度	◎	◎	◎	◎	◎		
18	審議会等委員の女性委員の割合	全体で30.0% （平成29年4月1日現在）	実績値	62.5%	61.8%	54.5%	47.1%	48.50%	各審議会等毎に30.0% （女性委員が30%を超える附属機関の割合）	男女共同参画室
			目標値	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%		
			指標達成度	◎	△	△	△	△		
18	審議会等委員の女性の長の割合	9.4% （平成29年4月1日現在）	実績値	12.5%	11.8%	12.1%	8.8%	6.1%	全体で30.0%	男女共同参画室
			目標値	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%		
			指標達成度	◎	△	△	△	△		

つくば市男女共同参画推進基本計画（2018～2022）指標一覧

施策番号	項目	現状値（平成28年度未または平成29年4月1日現在）		平成30（2018）年度	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	将来指標（2022年度）	担当課
19	市職員（行政職）の管理職に占める女性の割合（課長補佐職以上）	23.5% （平成29年4月1日現在）	実績値	20.9%	21.7%	24.2%	23.4%	24.4%	28.0%	人事課
			目標値	24.0%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%		
			指標達成度	△	△	△	△	△		
19	市職員（行政職）の係長職に占める女性の割合	19.1% （平成29年4月1日現在）	実績値	20.9%	21.2%	27.6%	30.2%	40.3%	50.0%	人事課
			目標値	20.0%	27.5%	35.0%	42.5%	50.0%		
			指標達成度	◎	△	△	△	△		
22	男性職員の2週間以上の育児休業取得	5.4%	実績値	28.9%	41.9%	74.5%	89.6%	82.9%	100.0%	ワークライフバランス推進課
			目標値	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%		
			指標達成度	◎	○	◎	◎	△		
26	男性のための電話相談	4回	実績値	6回	6回	6回	6回	6回	6回	男女共同参画室
			目標値	5回	5回	6回	6回	6回		
			指標達成度	◎	◎	◎	○	○		

男女共同参画社会の形成状況を把握するための参考値

参考値は、男女共同参画社会の形成の状況を把握するため、計画期間終了時の数値と比較するための値です。

No.	項目	前計画終了時 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1-3	消防吏員に占める女性の割合	2.0%	2.2%	3.1%	3.1%	3.7%	4.0%
1-3	消防団員に占める女性の割合	2.8%	2.9%	3.1%	3.0%	3.1%	2.9%
2-1	女性の認定農業者数	9人	16人	15人	14人	15人	16人
2-1	農村女性起業数	個人 14人 グループ3団体	個人 14人 グループ3団体	個人 15人 グループ2団体	個人 16人 グループ2団体	個人 17人 グループ2団体	個人18人 グループ2団体
2-2	地域子育て支援拠点施設数	8 施設	9施設	9施設	9施設	9施設	10施設
2-3	区長に占める女性の割合	4.1%	4.6%	5.8% (35/604)	6.1% (37/603)	6.5% (39/602)	6.5% (39/601)
2-3	市議会議員の女性の割合	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	28.6%	28.6%
2-4	市職員（行政職）の課長補佐職に占める女性の割合	35.5% (54/152)	31.1% (59/190)	31.7% (63/199)	33.8% (70/207)	33.3% (68/204)	33.2% (64/193)
2-4	市職員（行政職）の課長職に占める女性の割合	10.0% (8/80)	6.4% (5/78)	6.4% (5/78)	10.5% (8/76)	11.6% (10/86)	17.0% (17/100)
2-4	市職員（行政職）の次長職に占める女性の割合	10.3% (4/39)	2.4% (1/38)	2.4% (1/38)	0% (0/34)	0% (0/35)	6.1% (2/33)
2-4	市職員（行政職）の部長職に占める女性の割合	7.1% (1/14)	16.7% (2/12)	15.4% (2/13)	15.4% (2/13)	6.3% (1/16)	6.3% (1/16)

男女共同参画に関する市民意識調査における実績値

No.	項目	令和3年(2021年) 実績値	令和3年(2021年) 目標値
1	市民意識調査 家庭生活において男女平等になっていると思う割合	37.3%	50.0%
2	市民意識調査 社会通念、慣習、しきたりにおいて男女平等となっていると思う割合	13.3%	50.0%
3	市民意識調査 仕事と家庭生活を優先することを希望する人の割合と現実に仕事と家庭生活を優先している人の割合の差	4.4%	3.0%
4	市民意識調査 DV相談した人の割合 (DV相談した人/DV受けたことがある人)	43.3% (26/60)	50.0% (20/40)
5	市民意識調査 「つくば市女性のための相談室」を知っている割合	35.6%	50.0%
6	市民意識調査 女性活躍推進法の認知度	37.4%	50.0%
7	事業所調査 雇用機会における均等の実態：採用が均等になっている割合	74.0%	80.0%
8	事業所調査 ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所の割合	71.6%	70.0%
9	職員意識調査 男女共同参画の視点を持って事業・業務を行っている人の割合	65.9%	90.0%
10	職員意識調査 ワーク・ライフ・バランスに対する職場の理解度	81.0%	90.0%